

「お菓子作りを体験しよう」
8月23日（水）

～かるがもの家～

◆地域の小学生との交流プログラム◆

「世界でひとつだけのピザ・コロック作り」
8月18日（金） ～パステル～



ジャンケン大会

横浜市社会福祉協議会の福祉教育の一環として、小学生との交流プログラムを開催しました。参加者は小学生5名とそのきょうだい2名、保護者の方々が4名。メンバーと小学生でチームを組み、マンツーマンでクッキー作りをしました。最初は緊張の面持ちでいた子どもたちも徐々にリラックス。暑さのためにクッキー生地がすぐに軟らかくなってしまい、型抜きに苦戦する姿もありましたが、それぞれ個性豊かなクッキーを作り上げていました。施設見学や事業説明、メンバーへのインタビュー、質問コーナー、ジャンケン大会なども行い、笑顔が絶えないひとときとなりました。

小学生の感想は…「〇〇さん（メンバーの名前）とクッキーを作るのが楽しかった」「おいしかった」「また作りたい」「ほかのものも作ってみたい」「かるがもの家を知れてよかった」など。

保護者の方々からは、「貴重な体験でした」「事業所の内容を教えていただき参考になりました」「子どもの将来を考えるよいきっかけになりました」「利用者の〇〇さんが、子どものペースに合わせて手伝ってくれてよかったです」「やさしいメンバーばかりでした」と嬉しいお声をたくさん頂戴しました。



みんなの力作

焼けたかな?

小学生と一緒にクッキー作りをしたメンバーだけでなく、洗い物に徹してくれたメンバー、黙々とクッキーを焼き続けてくれたメンバー、クッキーをのせた天板を持って1階と2階を行き来してくれたメンバー、飾りや掲示物を作ってくれたメンバー、それらを上手に飾りつけてくれたメンバー、クッキー生地を準備してくれたメンバー…等々、その場にいなかったメンバーも含めて皆で協力して実施することができた企画でした。栄高校のボランティアさんのお力も大きかったです。ありがとうございました。



掲示物作り

最後にメンバーの声を少しご紹介します。

「とにかく楽しかった」「子どもが好きなので一緒にクッキー作りができて嬉しかった」「自由奔放にクッキーを作る子どもたちに圧倒された」「保護者の方に『子どもといい時間を過ごせました』と言ってもらえて嬉しかった」「子どもたちの力作を焼くのに工夫を要した」「『また来たいです』と言ってもらえて嬉しかった」…

今回の企画は、お菓子作りを通して一緒に楽しい時間を過ごすことで、メンバーやかるがもの家の活動をより身近に感じていただく貴重な機会となりました。今後も継続してこのような機会をつくり、さらに理解の輪を広げたいと思っています。

今日の日が来るのをメンバーはずっと楽しみにしていました。お掃除をしたり、3種類のお土産用のコロックをつくり、1人1人に材料をお皿に取り分けたりと、朝から大忙しでした。午後2時から始まるため、午前通所で準備する担当と午後通所で小学生と一緒に作る担当に分かれていましたが、小学生の顔が見え始めると午前組の疲れた顔のメンバーも笑顔に変わり、午後はメンバー全員参加となりました。



みんなで作ったピザとコロックは極上の味でした！



小学生19名、保護者、町内会長、港南区社協職員、区役所職員、港南中央地域ケアプラザのコーディネーター、生活支援センター職員など、ミーティング室には総勢45名の人が集まりました。

思い思いにピザとコロックを作る小学生にとっても丁寧に教えているメンバーの表情は、お弁当作業の時とは違って穏やかで、小学生を思う優しさに溢れていました。改めてパステルは港南区の皆様を支えられ、安心して生活できていることが実感できる日になりました。引き続き、地域に愛されるパステルを目指して、定期的に小学生や中学生と一緒に過ごす時間を作っていこうと思っています。



そして、みんなが大人になった時に、パステルのメンバーと過ごして時間を思い出して、「楽しくそして優しい人がいたなあ」と記憶の片隅に残ってくれることを願います。パステルの福祉教育の窓口になって下さった港南区社会福祉協議会の皆様、いつも支えていただいている港南区役所の皆様、地域との関わりを作って下さる港南中央地域ケアプラザの皆様、地域で温かく受け入れて下さる南台町内会長をはじめ町内会の皆様、貴重な1日を迎えることができました。本当にありがとうございます。

